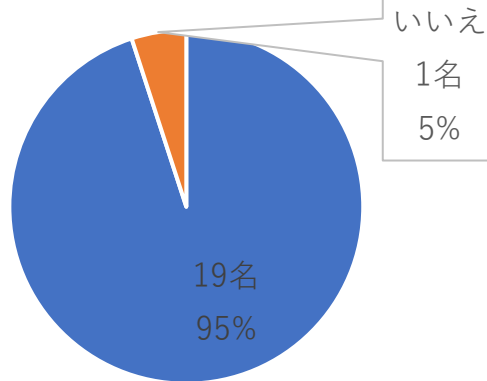


モデル授業アンケート結果

杉並区立西田小学校【保護者】

設問1:「わたしたちと和食」授業(以下、「モデル授業」)の話がご家庭で話題になりましたか。(択一)

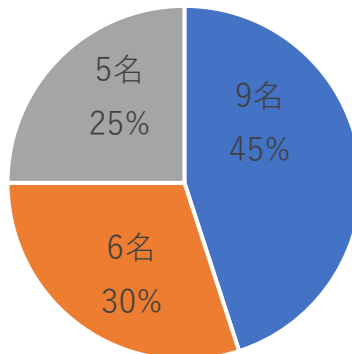
図1 (単一回答 n=20)



■ はい ■ いいえ

設問2:モデル授業を受けた後のお子さんの反応は、いかがでしたか。(択一)

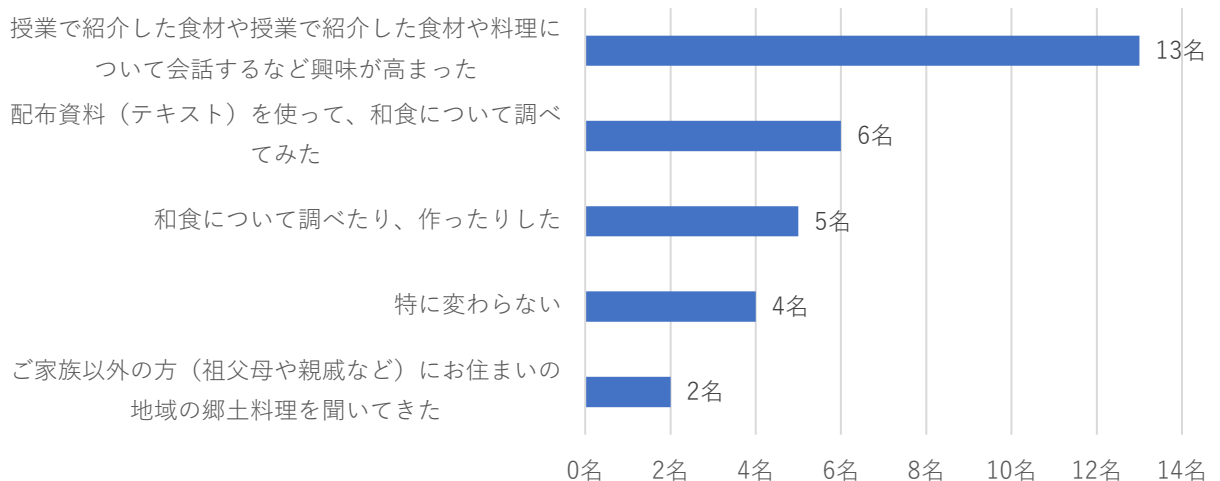
図2 (単一回答 n=20)



■ 非常に興味をもった ■ 興味をもった ■ 変わらない

設問3:モデル授業では、児童に和食の特徴などについて発表をしていただきました。お子さんはその後、学びを深める(調べる・料理を手伝う)などの行動はございましたか。(複数回答)

図3 (複数回答)

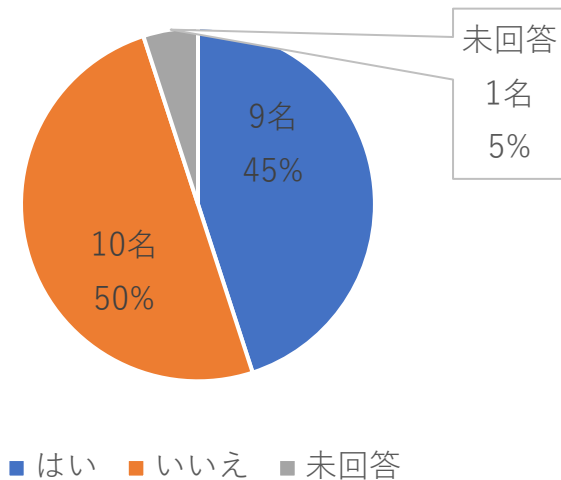


モデル授業アンケート結果

杉並区立西田小学校【保護者】

設問4:ご家庭において、お住まいの地域や保護者等のご出身地域の郷土料理を作られますか。(択一)

図4 (単一回答 n=20)



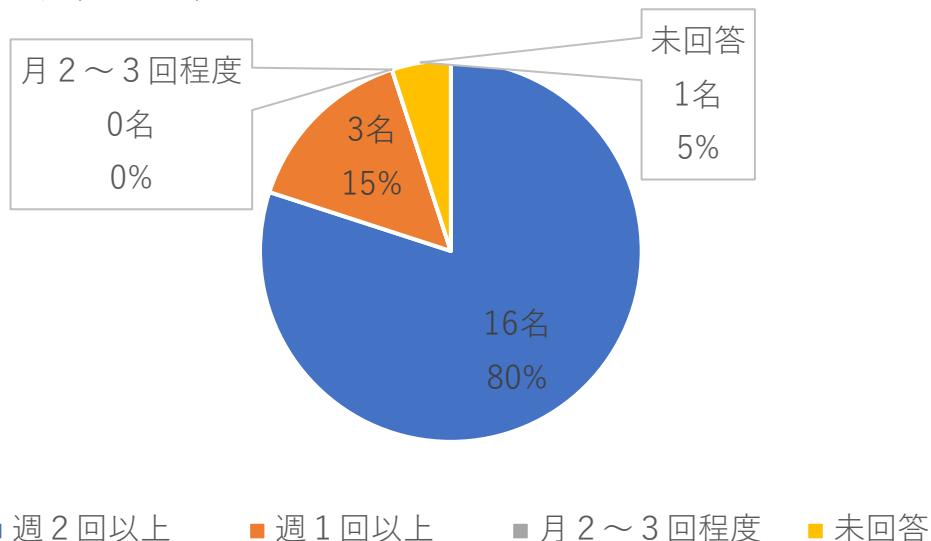
設問5:設問4で「はい」と答えた方に質問です。どのような料理を作られますか? (自由記載)

(自由記述)

信州そば、具たくさん味噌汁、かしわめし、お好み焼き、たこ焼き、きりたんぼ鍋 (祖父の出身地)
おぞうに、おでん、深川めし、正月の雑煮、どて煮 (愛知)、くしかつ

設問6:ご家庭において、和食が食卓に上がる頻度はどのくらいですか。

図6 (単一回答 n=20)

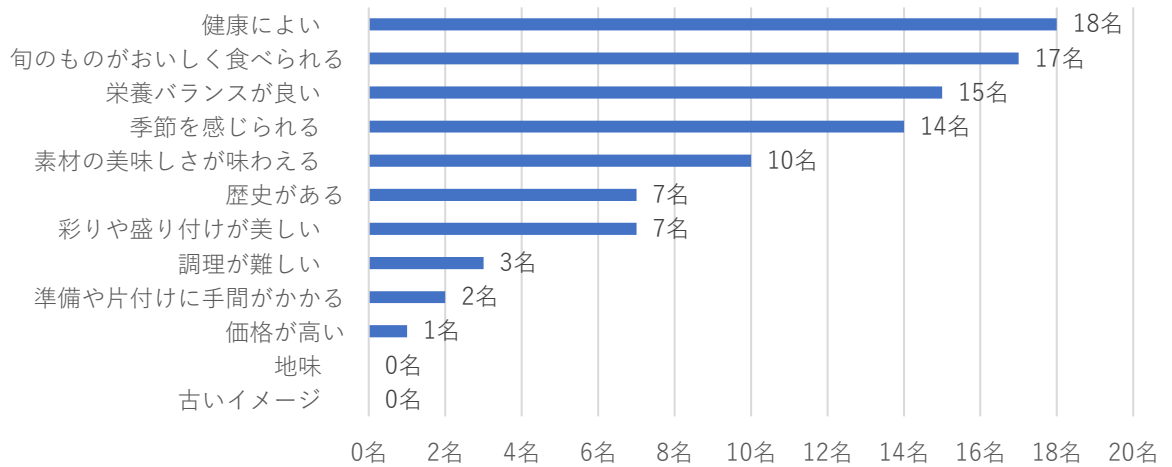


モデル授業アンケート結果

杉並区立西田小学校【保護者】

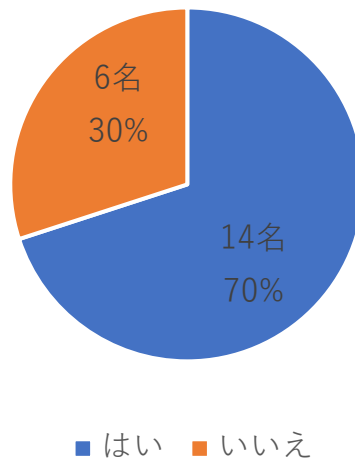
設問7:和食についてのイメージはどのようなものですか。(複数回答)

図7 (複数回答)



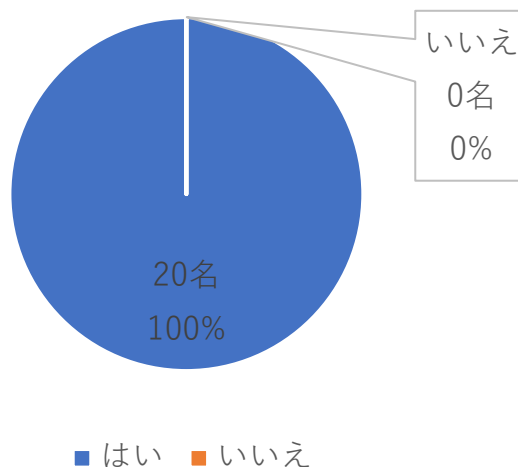
設問8:「和食;日本の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されていることを知っていたり、聞いたことがありますか。(択一)

図8 (単一回答 n=20)



設問9:今後も学校において「和食」の授業を定期的実施してほしいですか。(択一)

図9 (単一回答 n=20)

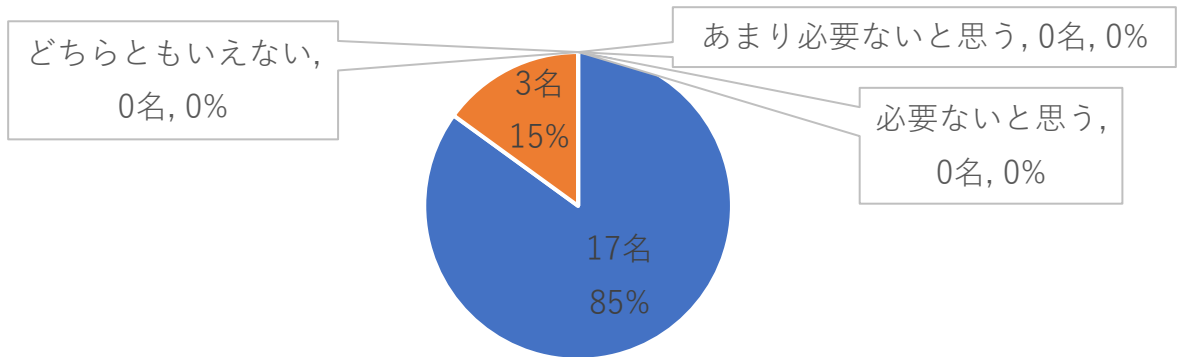


モデル授業アンケート結果

杉並区立西田小学校【保護者】

設問10: 和食文化を次世代に継承することは重要なことだと思いますか(択一)

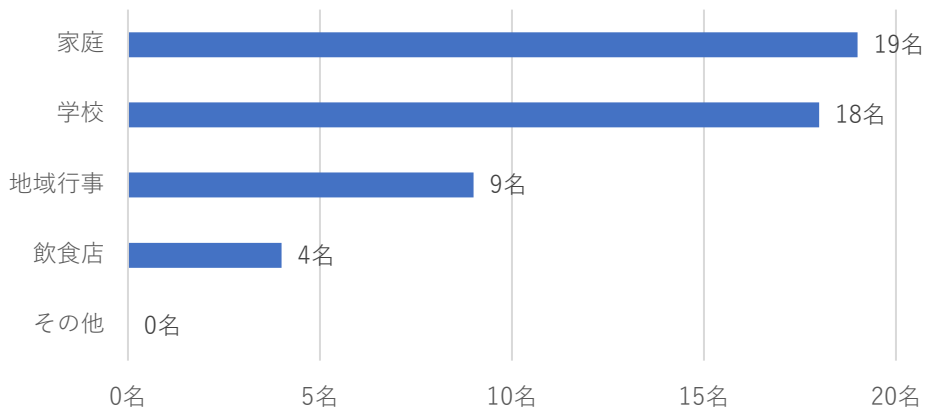
図10 (単一回答 n=20)



- とても重要だと思う
- 重要だと思う
- どちらともいえない
- あまり必要ないと思う
- 必要ないと思う

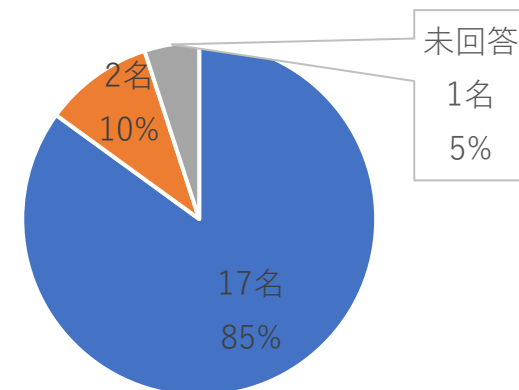
設問11: 和食文化を保護継承する場として適切な場所はどこだと思いますか(複数回答)

図11 (複数回答)



設問12: 親世代向けにも和食を学ぶ機会があれば受けたいと思いますか(択一)

図12 (単一回答 n=20)



- はい
- いいえ
- 未回答

モデル授業アンケート結果

杉並区立西田小学校【保護者】

設問13: 上記の設問で「はい」と答えた方にお伺いします。どのようなテーマが学べるとよいと思いますか(自由記述)

(自由回答)

- ・和食の栄養バランス
- ・陰陽の話を知りませんでした。
- ・だしの取り方や使い方
- ・和食文化全般
- ・出汁の取り方、盛り付けなど
- ・和食が身近になるような時短アレンジや電子レンジで加工が可能なもの、反対に普段自分ではなかなか出来ない物を見る機会。
- ・和食の基本、食材の選択のコツ、行事にあったメニュー
- ・子どももたくさん手伝える和食のお料理
- ・季節料理
- ・健康食としても注目が集まっている精進料理に興味があります。
- ・和食は茶色のイメージなので、彩りを良くするにはなど興味があります。
- ・家庭でもできる簡単な和食、伝統的な和食
- ・行事食(節分、ひなまつりなど) 身近な行事(イベント)
- ・特産品を使った料理
- ・おせち料理を簡単に作る
- ・子どもが喜ぶ和食

設問14: 和食、和食文化を継承していくには何が必要だと思いますか。(自由記載)

(自由回答)

- ・地域での行事で深める
- ・やはり和食を食べる習慣を増やすことだと思います。
- ・親が正しい知識を身に付け、子に伝えていくことだと思う。
- ・食えること。知識として和食を知っているのではなく、日常的に食べているということが必要だと思います。
- ・実際に食する事で、和食のおいしさを知ることが出来る
- ・和食を食べる機会を増やす。(学校給食、家庭での食事) 形が変わって伝わっていく事への許容も必要なのかも?
- ・季節や行事を大切にすること
- ・おいしい和食を食べてまた食べたい、作りたいと思える経験をたくさん!
- ・和食の良さの発信力の強化!
- ・和食の良い点をより多くの人に知って頂くことが必要かと思いました。
- ・旬の食材などは値段も高いので、求めやすい価格になるといい。学校でももう少し調理実習などがあると興味をもつのかなと思う。
- ・暮らしの中に自然と取り入れていること、身のまわりにあたりまえにあること。学校・家庭だけでなく、地域にもあった方がいいですし、メディアでグルメ番組を流していますが、和食のことを定期的に放送していけば子ども世帯だけでなく日本に暮らす多くの人にとってあたり前のこととなっていくのではないかと感じます。
- ・今回のように子供達に学ぶ時間があるとよい。
- ・家庭料理を大切にすること、食べるだけでなく作る体験、食材への理解を深める
- ・和食を食べて味わうことができるよう家庭で作る
- ・子どもが喜んで食べるものを作ること